

佐藤義詮先生の国際性と普遍性 —新制大学（別府女子大学）創立70周年に寄せて—

山本晴樹（別府大学名誉教授）

2020(令和2)年は別府大学の前身別府女子大学が新制大学として創立されから70周年でした。1950(昭和25)年に戦前の女子高等教育機関である別府女子専門学校(1946年設立)が戦後の教育制度改革によりわずか4年間で廃止され、新たな大学(新制大学)として設立されたのでした。しかし、創立はされたものの地方都市で4年制の女子大学を維持していくことは困難を極め、結局4年後の1954(昭和29)年に男女共学の別府大学として再出発し、現在に至っています。

この70周年にあたる2020年に記念すべき本が出版されました。それは別府大学とフランスのモンペリエ第三大学(ポール・ヴァレリー大学)との共同研究の成果として出版されたものです(PULM 地中海大学出版、2020年)。表紙(図1)にはタイトル『街道・地割・聖域:日本とローマ帝国西部の古代景観の比較研究』が掲げられ、表紙上部には日本の検地の絵図、下部左は南仏ニーム(ローマ都市ネマウスの)の神殿メゾン・カレ、下部右は宇佐神宮本殿の写りが配されています。

この本はモンペリエ第三大学のアントワヌ・ベレス准教授(古代ローマ史)が編集したもので、執筆者は編者の他に同大学准教授のマルティヌ・アセナ准教授(古代ローマ史)の他一名、別府大学側は飯沼賢司学長(日本中世史)、段上達雄教授(日本民俗学)それに私(古代ローマ史)、そして学外共同研究者であった故木本雅康長崎外国語大学教授(歴史地理学)です。内容についてはまた別な機会に触れられるでしょうからここでは執筆者の紹介に止めておきたいと思います。

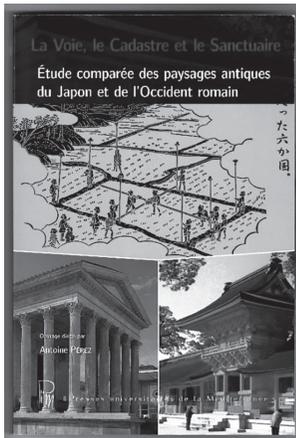


図1 表紙



図2 裏表紙

ここで注目したいのは、あまり触れられることのない裏表紙(図2)の方です。宇佐神宮本殿の拡大写真を下地にして、上部にはこの本の紹介が述べられており、下部にはこの本を出版するにあたり協力した研究機関のロゴマークが表示されています。その中の両端がポール・ヴァレリー

大学と別府大学のロゴマークです(図3)。それ以外は左からそれぞれ国際関係・フランス語圏部局、人文・社会科学学際研究センター(CRISE)、人間科学館南部(MSHSUD)のロゴマークです。これらを比べてみても、別府大学のロゴマークは決して引けを取ってはいません。むしろロゴマークとしては優れている方ではないでしょうか。

ここからは、このロゴマークを採用された本学の創立者佐藤義詮先生(1906 - 1987)の国際性が伺えます。先生の国際性は戦前の文化学院で培われたもので、戦後米国ハワイ大学(1983年)、中国四川外語学院(1984年)との姉妹校締結となって実現します。先生の国際性の遺産はフランスとの学术交流でも遺憾なく発揮されています。



図3 ポール・ヴァレリー大学(左端)と別府大学(右端)のロゴマーク

本学のロゴマークが上述の各研究機関に引けを取らない理由としては、大学としての建学の精神 VERITAS LIBERAT(真理はわれらを自由にする)がはっきりと表現されていることが考えられます。他の研究機関のロゴマークにはそれがありません。この建学の精神は、佐藤義詮先生が戦後すぐの別府女子専門学校創立のときに掲げられたと言われています。現在この言葉は非常に高邁な精神を表す言葉のように感じられ、にわかには理解することは困難なようにみえますが、しかし戦後すぐの状況からすれば、むしろ長い軍国主義の時代を生きのびた人々には共感できる言葉ではなかったでしょうか。というのも、軍国主義の時代は「真理」を学ぶ機会は奪われ、「自由」も抑圧されていたわけですから、戦後の解放のなかで「真理はわれらを自由にする」という言葉は、人々の胸にストレートに入っていたのではないかと思うのです。

「われら」という表現にも違和感を覚えるかもしれませんが、同時代の1946年11月3日に公布された日本国憲法の前文では6回も繰り返し使用されています。従って、「われら」という表現も当時の人々には違和感なく受け入れられたことでしょう。ちなみに、1948年2月9日に公布された国立国会図書館法の前文には「真理がわれらを自由にする」という言葉が掲げられており、表現が若干異なるものの同様の精神が日本全体でも共有されていたことがわかります。このように「真理はわれらを自由にする」という建学の精神は一大学のものではなく、佐藤義詮先生の時代をみすえた精神だったと思います。ここに先生の普遍性が現れているのではないのでしょうか。

このように別府大学のロゴマーク(図4)は佐藤義詮先生の国際性と普遍性が結晶したデザインと思われる。2020年に新制大学創立70周年を迎えた別府大学が受け継いでいく佐藤義詮先生の遺産の一つにして欲しいと願っています。



図4 別府大学ロゴマーク